

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年6月21日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学チャンネルアイランズ校 現地言語: California State University Channel Island
留学期間	2022年1月～2022年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年6月10日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月～12月 2学期:1月～5月 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約7500
創立年	2022

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	7040	円	
食費	980+300	寮のカフェテリア代+外食と 自炊代円	
図書費	0	円	
学用品費	36	円	一つの授業で教科書購入が必須であった
携帯・インターネット費	150	6000円	現地で使える SIM カード
現地交通費		円	寮はキャンパス内にあり、クラスまで徒歩(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで 徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	200	円	
医療費	129	12000円	飛行機のための PCR 検査代
保険費	800	71000円	形態: 現地の学校と明治大学が指定する保険が必須
渡航旅費		150000円	JAL
ビザ申請費	160+220 (SEVIS)	円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	around 125000	円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:成田 目的地:LAX 経由地:

復路 出発地:LAX 目的地:成田 経由地:

渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社: JAL

料金: 約150000円

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社: 料金:

復路 航空会社: 料金: ∴合計:

航空券購入方法

旅行代理店(店名:) インターネット(サイト名:) その他()

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前: Anacapa) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

学校のホームページ

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

部屋は一人部屋で、バスとトイレを2人で共有し、キッチンで4人で共有。キッチンにはコンロや冷蔵庫、電子レンジがあり便利。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)

なしあり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

なしあり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

学校からのメールとニュースを確認していた。犯罪に巻き込まれたことはなかった。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校や寮にWi-Fiがあり、接続はよかった

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

両親にVISAカードに入金してもらっていた。また、5万円くらい出国前に換金した。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

カップラーメンや日本のカレーなどの日本食。日本食はあるが、とても高い。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
9単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? なし		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Social Problems		社会問題
科目設置学部・研究科	SOC	
履修期間	1学期間	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面+オンライン 講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に75分が2回	
担当教授	Gary Garcia	
授業内容	現在起きている問題について。世界各国の問題について学んだが、アメリカの問題が取り上げられることが多かった。内容は貧困問題やグローバル化、教育、男女格差について。	
試験・課題など	毎週の課題は教科書の1章を読むこと、授業内容に関する問題に対して自分の意見を参考文献をもちいてディスカッションボードに書くこと。自分の意見を投稿することに加えて、2人以上のクラスメイトに意見を書く。また、2週間に一回、30問程度のテストがあった。	
感想を自由記入	アメリカの社会問題について学べたことは非常に興味深かった。特に貧困問題について学び、アメリカは貧富の格差が激しく、ホームレスが多いことに衝撃を受けた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Comparative Government		比較政治学
科目設置学部・研究科	POLS	
履修期間	1学期間	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面授業、講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に75分が2回	
担当教授	Ross D. Puglia	
授業内容	様々な国の政府の形態や政治経済、国際関係について学ぶ授業	
試験・課題など	毎週の課題は教科書1章読むこと。中間試験と期末試験には、A4で5ページ以上のレポートを書く。レポート内容は、教科書の指定されたページについて。また、プレゼンテーションがあり、クラスメイトの前で1人5分、自分が選んだ国の政府について話す。	
感想を自由記入	様々な国の政府についてや現在の国際関係について学ぶことができた。授業の最初に教授が生徒に現在のニュースについて質問があるか問うため、現地の学生がどのような問題に興味があるのか知ることができた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Interpersonal Communication		対人コミュニケーション	
科目設置学部・研究科	COMM		
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面授業、講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Vivian Henchy		
授業内容	日常生活で人間がどのようにコミュニケーションをとっているのか学ぶ。非言語的コミュニケーション、文化の違いがコミュニケーションに与える影響、性格とコミュニケーションなどについて学んだ。		
試験・課題など	毎週の課題は教科書1章読むこと。それに加え、授業前に読むべき参考文献や、TEDの動画などがある。すべて予習していることが前提で授業が行われる。また、毎週授業後に授業内容に関する問題に対してディスカッションボードに投稿する。さらに2週間に一回テストがあり、ほぼ毎週コミュニケーションに関する調査課題があった。中間レポートと期末レポートでは6ページ以上レポートを書き、期末には5分間のプレゼンテーションもあった。		
感想を自由記入	授業の課題は多く、調査をしてレポートを書くものなど時間がかかるものが多かった。また教科書は1章20ページから多い時で50ページくらいあったため時間がかかった。課題は多かったが自分の興味がある分野であったため学ぶことが多かった。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	入学前
	4月～7月	TOEFL 勉強
	8月～9月	TOEFL 勉強
	10月～12月	TOEFLを受ける、留学願作成、面接、選考
留学開始年	1月～3月	現地大学に必要な書類を郵送、奨学金申請
	4月～7月	留学開始時期が8月から1月になった
	8月～9月	
	10月～12月	VISA 申請、寮申し込み、航空券購入、授業登録
留学/帰国年	1月～3月	PCR 検査、渡米
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

中学三年生のときにアメリカのノースカロライナ州にホームステイしました。そのときは夏休み期間中で10日でした。アメリカに行ってみて日本と異なる様々な文化に触れて、もっとアメリカの文化や日本とのちがいについてまなびたいと思うようになりました。そのため、大学受験では、協定留学ができる大学や学部を受験しました。国際日本学部に入學した年はすでにコロナウイルスが流行していたため、留学に行けるのかどうか分からない状態でしたが、留学に応募しました。先行後も一度留学がキャンセルになりましたが、延期をして結果的に渡米できました。留学中、そして帰国後、留学ができて本当によかったと思いました。なぜなら、留学中様々な貴重な経験ができたからです。友達ができたことによって様々なところにつれていってくれたり、アメリカで流行っていることなどを色々教えてくれました。現地の友達と話すことによって、ネイティブがよくつかう英語のフレーズを知ることができました。「こんな言い方があるんだ」など毎日新しいことを知れてとても興味深く楽しかったです。留学前は友達ができるかどうかとても不安でしたが、実際に行ってみてそのような不安はまったくなくなりました。留学によって、自分から積極的に行動することが本当に大切であることを学びました。様々な機会がありますが、自分から行動しなければそのチャンスを掴むことはできないと思いました。せっかくの留学の機会を最大限に生かすことができるように、自分から色々調べて行動することが大切だと思います。コロナウイルスで行けるかどうかまだ曖昧なときは尚更ですが、留学前は多くの手続きなどで大変で心がおれそうになることもあると思います。しかし、実際に留学にいったら日本ではできないような貴重な経験をすることができます。毎日新しい発見がありとても楽しい時間をすごすことができます。そのため、目標をもって最後まで諦めないことが大切だと思います。